

# ～2022年度日本学生けん玉連盟主催大会②～

- 第36回けん玉全日本新人王決定戦
- 第25回全日本空中技けん玉選手権大会
- 第3回全日本けん玉年代別選手権
- 第10期けん玉全日本名人戦

**主催：**日本学生けん玉連盟、JKA空中技研究学会

**後援：**公益社団法人日本けん玉協会

**日時：**2023年3月4日（土）10時受付開始（9時30分開場）

**場所：**大阪市立淀川区民センター3F第一会議室

**参加費：**名人戦以外・・・学生：1大会出場ごとに500円・社会人：1大会1000円  
名人戦・・・3000円※使用けん玉代金含み

**申込み：**名人戦以外・・・当日申込み

名人戦・・・事前申込+当日申込5名程度

## 第36回けん玉全日本新人王決定戦

### 参加資格

- ・中学生以上であること。
- ・大会前日（2023年3月3日）現在、日本けん玉協会認定段位が四段以下であること。
- ・日本けん玉協会主催大会において、以下の成績がないこと。
- ・全日本選手権、JKA杯、JKA Jr.、全日本少年少女大会の予選通過経験がないこと。
- ・もしかめ選手権において、4時間以上の記録がないこと。
- ・クラス別選手権Bクラスで優勝、準優勝の経験がないこと。
- ・藤原一生杯等の世界大会で優勝、準優勝の経験がないこと。
- ・当連盟主催大会の下記6大会で優勝あるいは準優勝の経験がないこと。  
（新人王決定戦、全日本学生選手権、全日本ユース選手権、学生・社会人対抗戦、全日本フリースタイル選手権、名人戦）

### 試合形式

- ・1次予選  
別表1の選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、学生の部（大学生以下）と社会人の部それぞれの部門で成功回数の多い5位タイまでの選手が2次予選へ進出する。
- ・2次予選  
別表1の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の多い3位タイまでの選手が部門別優勝決定戦へ進出する。
- ・部門別優勝決定戦  
2次予選と同様の方式により、学生の部、社会人の部ごとの優勝を決定する。  
しかし、決定しない場合は別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。  
※部門別準優勝決定戦は廃止します。  
ただし、20本（2回目の第10選技）でも勝者が決まらない場合は、別表4のタイム競技により、優勝者ないし準優勝者を決定する。なお、各部門の優勝者は、全日本新人王優勝決定戦へ進出する。
- ・全日本新人王優勝決定戦  
部門別優勝決定戦と同様の方式により、総合優勝者（全日本新人王）を決定する。  
ただし、こちらに関しても上記サドンデス方法を実施した結果、優勝者が決まらない場合同様に別表4のタイム競技により決定する。

# 第25回全日本空中技けん玉選手権大会

## 参加資格

- ・中学生以上であること。
- ・大会前日（2023年3月4日）現在、日本けん玉協会認定段位が初段以上であること。

## 試合形式

- ・予選  
別表5選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、成功回数上位8名（同点の場合1回目の成功数が多い方が上位）とし、決勝トーナメントに進出する。  
なお、8位タイが複数名の場合は別表5の第1選技から順番にサドンデスを実施する。どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。
- ・決勝トーナメント  
6種目3本先取勝ちとする。  
1、2種目は種目提示戦にて実施する。（詳しくは「種目提示戦」を参照）  
3本目以降は別表5より規定種目戦にて実施する。なお、規定種目戦は1種目3回まで。  
3本先取するか、6本終了した時点で先取した本数が多い方を勝者とする。  
2対2ないし6本終了した時点で同点の場合は、1回戦は別表3、準決勝以降は別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる別表5の第1選技から順番に実施するサドンデスにて勝者を決定する。

## 条件付きサドンデス

～説明～

- ①別表3の条件を抽選する。
- ②決定した条件で第1選技から順番に実施する。
- ③第10選技終了時、勝者が決定していない場合は再度抽選にて条件を決定する。
- ④以降繰り返しで勝者を決定する。

～注意点～

- 2番「片足立ち」については、技の開始から審判の合図があるまで片足であること。
- 3番「2回連続」については、審判の一回目成功の合図確認後手でおろし、二回目を開始すること。

## 種目提示戦

- ・お互いに種目（技）を提示し、勝敗を競う。
  - ・一方の選手が種目を提示し、提示者、対戦者の順で種目提示を行う。  
なお、試技の条件は最大2回までとなり、勝敗の決定も含め、下記のとおり実施する。
- ①提示者1回目成功、対戦者1回目成功 【対戦者1本】
  - ②提示者1回目成功、対戦者1回目失敗 【提示者1本】
  - ③提示者1回目失敗、対戦者1回目成功 【対戦者1本】
  - ④どちらも1回目失敗の場合は、2回目を実施。2回目に関しても上記と同様。

## ・提示種目の定義

- ①既存の技でも、新たに考案した技でもよい。
- ②大会中に自身が提示した技は1回限りとする。(他者が提示した技は提示可能)
- ③複数の技(同一含む)を組み合わせることはよい。ただし、最大5つとすること。  
また、宇宙一周のよう1つの技と成立されている連続技は、1つとして数える。  
※空中技に限り、全ての技を空中技で構成すること。  
(空中技とはけん玉が手から完全に離れ、その際に玉にけんがささっていないこと)
- ④提示種目者は1分以内、対戦者は3分以内に試技を終えること。
- ⑤提示種目者は事前に種目名を宣告する。また、対戦者ないし審判がわからない場合は技の説明も行うこと。また、対戦者の同意を得れば、模範演技を可能とする。
- ⑥使用けん玉は1試合1本とする。
- ⑦けん玉の形状を著しく変化させたり、自分のけん玉でしかできない技は不可とする。  
また、けん玉の形態を変える必要がある技(糸をはずす等)は不可とする。
- ⑧公序良俗に反する技は不可とする(技名も含む)。
- ⑨身体的要素を取り入れた技は、主催者もしくは審判団判断で不可とする場合がある。

## ・最優秀提示種目賞

提示種目の中で「独創性」や「高難度」など、秀でた技には最優秀提示種目賞を与える。  
条件としては、提示種目者が成功すること。

ただし、決勝トーナメントに進出できない場合は1種目試技2回の挑戦を可能とする。

※フリースタイル選手権に限り、決勝トーナメント1回戦の後攻者が3-0による負けとなった場合に限り、その選手はもう1種目挑戦することができる。※合計2種目可能

# 第3回全日本けん玉年代別選手権

## 参加資格

- ・中学生以上であること。

## 試合形式

### ・1次予選

- ①大会当日の満年齢により、10代・20代・30代・40代・50代・60代以上に  
分かれ、別表1の選技10種目のうち抽選で3種目を選技する。
- ②各種目1分間・合計3分間実施し、各年代成功合計回数上位2名が決勝トーナメント  
進出する。なお、同回数の場合は年齢が高いものが上位とする。

### ・2次予選

各年代2名を除いた残りの選手のうち、②にて進出した人数と合わせて16名までに  
達しないものにおいて、別表1のうち抽選で1選技を連続成功によるサドンデス  
を実施する。最大上限10回とし、同点の場合は1次予選の回数を多いほうを進出とする。  
なお、それも同回数の場合は年齢が高いものが上位とする。

### ・決勝トーナメント

別表1のうち抽選で1選技を連続成功によるサドンデスを実施する。最大上限10回とし、  
決着がつかない場合は、別表1のうち抽選した選技を30秒間実施し、成功回数が多い  
ものを勝ちとする。なお、それも同回数の場合は年齢が高いものが勝ちとする。

# 第10期けん玉全日本名人戦

## 参加資格

- ・高校生以上であること
- ・大会前日（2023年3月4日）現在、日本けん玉協会認定段位が初段以上であること。

## 大会開始

第36回けん玉全日本新人王決定戦、第25回全日本空中技けん玉選手権大会、第3回全日本けん玉年代別選手権が終了後開始。（16時ごろ）

## 使用けん玉

- ・主催者側が準備した新品の日本けん玉協会認定競技用けん玉を使用。  
抽選で割り当てられた競技用けん玉を制限時間15分以内に、糸の長さやけん玉のけん先の調整、けん玉のけんと皿胴の固定などを行い、そのけん玉を使用すること。
- ・注意：選手が抽選で得たけん玉を選手同士で交換してはならない。なお、主催者側から、大会使用けん玉には「けん玉名人戦」の刻印予定けん玉を調整するためのキット・ハサミや接着剤等・を自ら持ち込んでも可。  
ただし、糸の交換は不可

## 試合形式

### 【第1ラウンド】

- ・別表2選技を一斉に10種目の選技を一種目ずつ行う。
- ・一種目2回挑戦でき、どちらかで1回成功すれば1ポイントとなる。
- ・1回目が失敗した場合、2回目の挑戦ができるが2回失敗した場合、ポイントは0となる。
- ・満点は10点とする。このように2回挑戦で1回成功すればポイントとなる。
- ・ポイントの低い選手から敗退していく。  
ポイントの低い選手が同点の場合、同点の選手が全て敗退となる。

### 【第2ラウンド以降】

- ・別表2選技を一斉に10種目の選技を行う。
- ・一種目1回挑戦でき、成功すれば1ポイント、失敗した場合は、0ポイントとなる。
- ・満点は10点とする。10種目の技を行った後にポイントの低い選手から敗退していく。
- ・ポイントの低い選手が同点の場合、同点の選手が全て敗退となる。第3ラウンド以降も同じように続けて最後の一人になるまで続ける。最後の一人まで残った選手が名人となる。
- ・第2ラウンドから第6ラウンドまでについては、全員が同点となった場合、次のラウンドに全員が進むこととする。7ラウンド終了時点で一番高いポイントを獲得した人が複数いた場合、それまでの累積ポイントが一番高い選手が名人となる。
- ・それでも同点の場合は、タイム競技で決着をつける。  
タイム競技は別表選技2を1から10番まで一回ずつ行い、早く終了した選手が勝ちとなる。2位以下が複数の場合、1位が終了した時点で技を多く成功していた選手が上位となる。

# 選技内容

別表 1	別表 2	別表 3 (条件)	別表 5
1 宇宙一周	1 二回転飛行機	1 通常通り	1 掛け軸返しとめけん
2 けん先すべり～地球まわし	2 つるし一回転飛行機～はねけん	2 片足立ち	2 宇宙遊泳
3 つるしとめけん	3 うぐいすの谷渡り	3 二回連続	3 うずしお灯台
4 うらふりけん	4 つるし一回転灯台～とんぼ返り	4 椅子に座って	4 円月殺法
5 さかおとし	5 宇宙一周～地球まわし		5 つるし一回転飛行機
6 うぐいす～けん	6 ろうそく返し	別表 4 (タイム競技)	6 ろうそく返し
7 一回転飛行機	7 二回転灯台	1 とめけん×3	7 大皿落としけん※手のせ大皿可
8 ふりけん～世界一周	8 宇宙遊泳	2 飛行機×3	8 宇宙遊泳返し
9 はねけん	9 すべり止め極意	3 ふりけん×3	9 ろうそくうらふりけん
10 一回転灯台	10 円月殺法	4 世界一周×3	10 ふりけんつむじ風

それぞれの技については「けん玉の技 1 2 3」や過去の日本けん玉協会主催大会による競技ルールを参照すること。

タイム競技に関しては、

- ・ 4種目を各3回ずつ成功させる。技の順序は規定しない。
- ・ 3回成功する前に他の種目を行った場合、前の種目に限って成功回数を無効(0回)とする。
- ・ タイム競技開始前に、審判し最終種目を伝えること。
- ・ 審判の「かまえ、はじめ」の合図で協議を開始し、先に終了した選手を勝ちとする。

## 使用けん玉

- ・ 日本けん玉協会認定の競技用けん玉を予選では1本、決勝では1本とすること。
- ・ けんの長さは1.5cm以上、摩耗1cm以下であること。
- ・ 玉の穴は原形を保持していると認められること。
- ・ 特殊な加工(切り込み、やすりがけ、着色等)を施していないこと。
- ・ 糸の長さは自由とする。
- ・ その他、主催者の判断により、使用の可否を決定することがある。

## 連絡先

- ・ ご不明点等あれば、E-MAIL (t.tsu291@gmail.com) までご連絡ください。
- ・ また、公式twitterやfacebookも開設しておりますので、「日本学生けん玉連盟」で検索。

## アクセス



大阪市立淀川区民センター 3 F  
第1会議室

〒532-0022  
大阪府大阪市淀川区野中南2-1-5

電車でお越しの方  
阪急十三駅西出口より北へ徒歩7分

バスでお越しの方  
大阪シティバス「野中南二丁目」下車すぐ